

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

昭和55年7月30日 第16報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	100		
(藍) <i>Merismopedia tenuissima</i> *	20		
(藍) <i>Phormidium</i> sp.*	80		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	100		
(黄鞭) <i>Mallomonas reginae</i>	40		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	120		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	100		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	100		
(緑) <i>Gonium pectorale</i>	320	○	
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	3200	◎	◎
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	20		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	60		○
(藍) 藍藻綱	200	4.7	1.2
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	140	3.3	1.8
(珪) 珪藻綱	260	6.0	3.7
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	100	2.3	2.8
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	3600	83.7	90.4
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	4300	総体積	6.01E+06
種類数	14	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

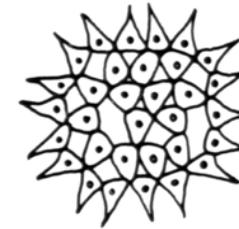
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	3200

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Gonium pectorale</i>	320

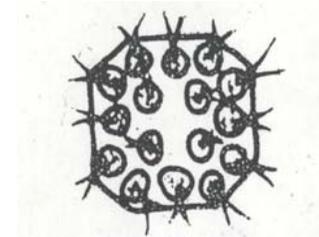
植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Gonium pectorale
(ゴニウム)
緑藻綱

群体は普通16個の細胞から形成され、平面上に規則正しく列んでいる。1個の細胞に2本の鞭毛をもつ。